令和元年１０月２５日
第１層協議体【資料１】

＜清水さんの事例を通じてわかった強みと課題＞

清水さんの事例を通じてわかった団体の強みと出てきた課題を整理しました。

項目	番号	できる人／団体／制度	概要
困りごとの相談や対応する仕組み	1	地域包括支援センター	
	2	介護予防・日常生活支援総合事業	※事業の対象である場合、保健師の訪問等あり
困りごとを専門機関等ににつなぐ	3	民生委員	地域包括支援センターにつなぐことの他、買い物の代行を頼まれた場合に、実施できる団体につなぐこともあ
認知機能の低下がある方に対応するための仕組み	4	認知症初期集中支援チーム	
	5	認知症サポーター養成講座	
判断能力が低下している方をサポートする仕組	6	きよせ権利擁護センター	
地域活動への参加同行	7	地域包括支援センター	
生活を送る上で困っていることに対応するための仕組み	8	シルバー人材センター	有償の生活支援サービスを実施。 買い物代行、家の掃除、ゴミ出し、車いすの散歩付き添い、話し相手、除草、植木、玄関の手すりをつける等。 大工や職人などが多数いることが特徴。
	9		有償運送をしている団体がある。
	10		移動販売をしている団体がある。
	11	シニアクラブ	話し相手などをしているクラブもある。
住宅のリフォームやバリアフリー化	12	商工会	※他市では住宅改修に関する補助金の仕組みあり。
地域のつながりを強める	13	生活支援コーディネーター	団体訪問時等、お互いに声をかけあうことの大切さをお伝えし、顔の見える関係づくりに取り組む。
他人事とせず、自分事として課題を捉える	14	市民	現在は元気でも、明日は我が事だという認識を持ち、周囲への声かけを行っていく。
本当は困っているのに声を出せない方への対応	15		
退職した高齢者男性の社会参加	16		
地域包括支援センターにつながると安心だが、つながっていない方への対応	17		
支援され上手な人を増やすには	18		
移動困難な方への対応	19		

…わからなかった点や市内で課題となっていること